

日本学術会議・地域研究委員会・アジアの地域協力の学術的ネットワーク構築分科会

第 25 期・第 1 回

議事要旨

開催日時：2020 年 12 月 21 日（月）、10:00-12:00

場所：遠隔オンライン会議

出席者(敬称略)：(世話人)羽場久美子、

大日方純夫、我部政明、貴志俊彦、木宮正史、小長谷有紀、

オブザーバー参加 三重野文晴

欠席者(敬称略)：金山直樹

(1) 24 期の活動報告

- ・ 24 期の活動の総括的な説明が、羽場世話人よりなされた。
- ・ ①公開シンポジウム開催（2019 年 12 月）、②『学術の動向』への特集執筆（2020 年 9 月）、③国際シンポジウム開催（当初 3 月予定からの延期で、2020 年 12 月、3、4、8 日）について報告された。

(2) 25 期役員決定

- ・ 分科会委員長に羽場久美子連携会員、副委員長に我部政明連携会員、幹事に貴志俊彦連携会員と三重野文晴連携会員が就くことが決定された。

(3) 25 期の活動について

- ・ 小谷汪之・東京都立大学名誉教授を特任連携会員として推薦することが決定された。
- ・ 今期は、遠隔会議での活動を想定して、公開シンポジウム・フォーラムの開催、国際シンポジウムの開催、『学術の動向』への特集寄稿を中心に活動を進めて行くこと、また今期中に提言ないし報告のとりまとめを行うことができるか否かを慎重に検討していくことが合意された。
- ・ 提言ないし報告の為の機動的な活動のために小委員会を設けることが話し合われたが、今後の活動の中で検討していくこととなった。
- ・ 併せてシンポジウムや学術の動向での特集を積み重ね、新書等で広く一般にもアジアの地域共同と学術ネットワーク形成の重要性を伝えていくことの意義が合意された。
- ・ 次回の分科会を、2021 年 3 月を目途に開催し、小長谷有紀会員、三重野文晴連携会員および参考人一人が報告を行うことが決定された。
- ・ 次回の分科会での議論を踏まえて、2020 年 5 月ないし 6 月を目途にフォーラムないしシンポジウムの開催を調整していくことが合意された。

以上